

2025年3月25日

各 位

会社名 科研製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長 堀内 裕之  
(コード番号 4521 東証プライム市場)  
問合せ先 広報 I R 部 近藤 康彦  
(TEL. 03-5977-5002)

## TYK2阻害剤「ESK-001」の日本での皮膚科領域における 開発、製造及び販売に関する提携及びライセンス契約締結に関するお知らせ

科研製薬株式会社（本社：東京都文京区、社長：堀内 裕之、以下「科研製薬」）および Alumis Inc.（本社：米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ、最高経営責任者：Martin Babler、以下「アルミス社」）は、アルミス社が尋常性乾癬等を対象に開発中の「ESK-001」（開発記号）について、日本における開発、製造及び商業化に関するライセンス契約を、2025年3月25日付で締結しましたのでお知らせいたします。

本契約締結により、科研製薬は日本における「ESK-001」の皮膚科領域の疾患に対する治療剤としての独占的な開発、製造及び販売の権利を取得します。科研製薬はアルミス社に対して契約一時金の20百万ドルを支払うとともに、アルミス社のグローバル開発費に対する一定の分担金、開発及び販売マイルストンの達成により最大で125百万ドル、並びに売上に対するロイヤルティを支払います。なお、アルミス社が「ESK-001」の日本を含む国際共同治験などのグローバル開発を行い、科研製薬は日本における承認申請、商業化及び日本における必要に応じた開発を担います。

また、科研製薬は膠原病領域および消化器領域における開発・販売権のライセンスに係るオプション権を有し、オプション権を行使した場合には、一定額の契約一時金を支払うとともに日本国内での当該疾患領域での独占的な開発、製造及び販売の権利を取得します。

科研製薬は、「長期経営計画 2031」の研究開発戦略において、開発パイプラインの拡充を掲げています。重点創薬3領域（免疫系、神経系、感染症）において自社創薬基盤を活用するほか、強みとする皮膚科領域においてもアンメットメディカルニーズに応える医薬品の提供も基本方針の一つとしています。科研製薬は、アルミス社との提携を通じて、皮膚科領域におけるプレゼンス向上をはかるとともに、患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上のために新たな治療選択肢をいち早くお届けできるよう、取り組んでまいります。

なお、本件による2025年3月期連結業績予想に与える影響につきましては現在精査中であり、今後開示すべき事由が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以上

## 【ESK-001 について】

「ESK-001」は IL-23、IL-17、IFN- $\alpha$  を含む複数のサイトカイン受容体を介したシグナル伝達を低下させる、選択的な次世代経口アロステリックチロシンキナーゼ 2 (TYK2) 阻害剤です。現在、アルミス社は中等症から重症の尋常性乾癬の成人患者を対象に、日本を含む国際共同第Ⅲ相試験 (ONWARD 試験) を実施しております。第Ⅱ相試験では、主要評価項目である PASI 75 の達成率や他の主要な有効性指標に加えて、概ね良好な安全性が確認されています。また、「ESK-001」は全身性エリテマトーデスの治療を目的とする第Ⅱb 相試験 (LUMUS 試験) も並行して進行中です。

## 【アルミス社について】

アルミス社は、米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコに本社を置く Nasdaq 上場 (Nasdaq : ALMS) のバイオテクノロジー企業です。個々の患者に最適化された治療アプローチを用いて、免疫疾患の患者さんの生活を大きく改善する経口治療薬を開発しています。主要な開発品には、選択的 TYK2 阻害剤「ESK-001」のほか、中枢神経疾患治療を目指す「A-005」があります。詳細は、同社ウェブサイト [www.alumis.com](http://www.alumis.com) をご参照下さい。

### (参考資料)

#### ・尋常性乾癬について

乾癬は、銀白色の鱗屑 (皮膚の粉) を伴う境界明瞭な盛り上がった紅斑が全身に現れる慢性の皮膚疾患です。乾癬の患者さんの約 90% が尋常性乾癬であり、主に青壮年期に発症することが多いとされています。約 50% の患者さんにはかゆみの症状がみられ、爪の変形や関節炎を伴うこともあります。治療には、ステロイド薬、免疫抑制薬、生物学的製剤、光線療法等が使用されています。

#### ・全身性エリテマトーデスについて

全身性エリテマトーデス (Systemic Lupus Erythematosus: SLE) は、免疫系の異常により皮膚、関節、腎臓、肺など多岐にわたる臓器や組織に炎症が引き起こされる全身性の自己免疫疾患で、膠原病の代表的な疾患の一つです。発熱、倦怠感などの全身症状や関節の痛み、皮膚症状など様々な症状がみられ、主に 20~40 歳の女性に発症します。治療には、ステロイド薬、免疫抑制薬、生物学的製剤等が使用されています。

---

### 注意事項:

このニュースリリースに記載されている当社グループの事業に関する将来の見通し等の記述は、現時点で入手可能な情報から予測したものであり、今後の様々な要因により実際の結果とは異なる可能性があります。また、このニュースリリースに含まれている医薬品 (開発中のものを含む) に関する記述は、宣伝、広告等や医学的アドバイスを目的としたものではありません。